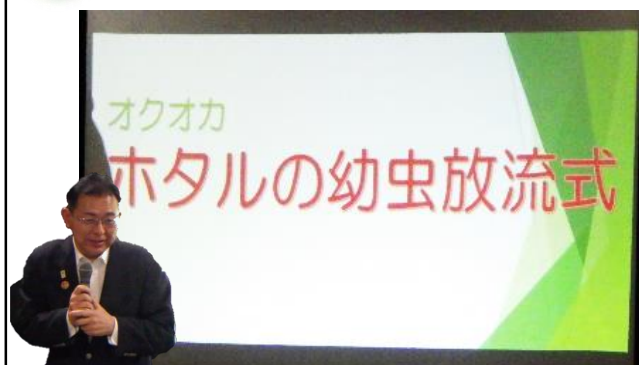


ホテル学校だより

🐛 オクオカ ホテルの幼虫放流式 開催！



中根康浩岡崎市長 挨拶



フタバ産業(株)
魚住社長



会場で挨拶する鳥川ホテル保存会 片岡会長



自然共生サイト認定報告の様子



豊富小学校3年生有志による発表



カワニナ飼育チーム
酒井くん



ゲンジボタルの幼虫を川へ放流

令和6年3月23日(土)「ホテルの幼虫放流式」が鳥川集会所にて行われました。まず式典が執り行われ、中根岡崎市長、フタバ産業(株)魚住社長よりご挨拶をいただき、河合・美合・北野の各地区のホテル保護活動団体の方をご紹介しました。そして環境部から、令和5年10月に鳥川ホテルの里が「自然共生サイト認定」を環境省から受けたことについて説明がありました。次に「豊富小学校学習発表」では、3年生20名の有志により学校の近くの川や川沿いを力を合わせて整備していることを発表し、ホテルクイズで会場が盛り上がりしました。また、「カワニナ飼育チーム」代表として美合小5年生酒井くんは、ゲンジボタルのエサであるカワニナを増やすため自宅でエサなどを工夫して育てた様子を発表しました。式典の後には、いよいよゲンジボタルの放流です。昨年6月の豪雨で岸が流され川の様子が変わったため、放流場所は例年より少し下流へ移動しました。今年は約330匹を「きれいに光ってね。」「楽しみにしているよ。」などと声をかけながら鳥川へ放流しました。

幼虫は雨の降る夜に陸へ上がり、湿った土にもぐって「さなぎ」となり1か月ほどかけて成虫になります。ホテルは例年ですと5月末頃から飛び始めます。ただ、先ほどお伝えしたように川の土手が崩れるなど環境が大きく変化してしまいました。今年のホテルにどの程度影響するかわかりませんが、みなさんが楽しみにしている幻想的なホテルの舞が今年も楽しめるようにと願っています。

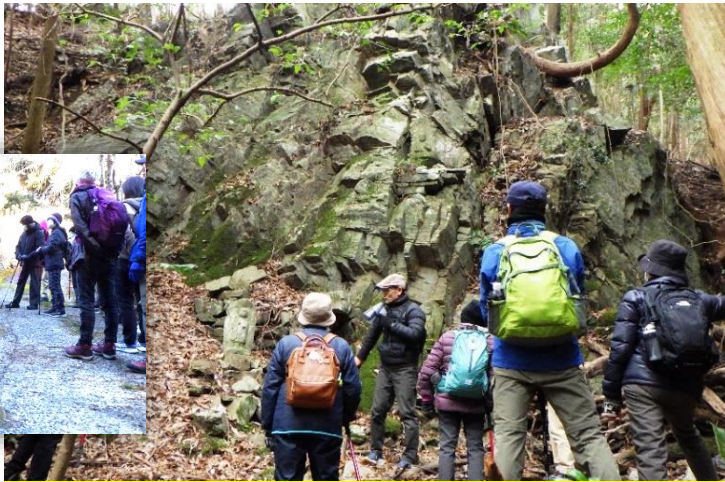
🐛 鳥川ホテルまつり開催のお知らせ

鳥川ホテルまつり開催期間 令和6年6月1日(土)～6月25日(火)
鳥川ホテルまつりオープニングイベント 6月1日(土) 午後5時30分～午後7時
※6月1日から30日まで「ホテル学校」は午後9時まで開館します(火曜定休)





「とっかわ歴史ミステリーウォーク」



竹内謙作氏(中央)から石仏の話聞く様子

鳥川の歴史を歩いて巡る人気のイベント「とっかわ歴史ミステリーウォーク」が令和5年12月24日(日)に開催されました。ホタル保存会アドバイザーの竹内謙作氏による案内のもと17名が参加しました。まずは、鳥川小学校の歴史を聞き学校をスタート！道端に祀られた石仏や、トヨタミナシ、猪垣、寺院などを90分ほどかけて巡りました。今回特別に「御嶽講霊神供養塔」などが祀られている秘境を訪れました。落ち葉を踏みしめて進むと、見上げるほどの高さの片麻岩の巨石の上に石仏が鎮座しているものもありました。あの高い所にどう祀ったのか…？ミステリアスで、不思議な感覚でした。



幼虫を慎重に取り出す様子

幼虫の取り出し

放流式前日3月22日(金)に、ホタル学校で飼育していたゲンジボタル幼虫を水槽から取り出す作業を行いました。幼虫は立派に成長し、4つの水槽で合計355匹の幼虫を確認しました。鳥川ホタル保存会に加え一般参加の大学生2名も加わり、作業は順調に進みました。どうか無事にホタルになって輝いてくれるようにと待ち望んでいます。



幼虫をエアポンプの器に移す様子



ホタルの幼虫上陸装置



自然界を再現している幼虫上陸装置と幼虫の様子

3月31日(日)ゲンジボタル幼虫上陸装置を準備しました。これは幼虫が水から上がって成虫になり交尾するまでを室内で観察するものです。約30匹の幼虫とエサのカワナを移しました。水槽の中に自然界を再現していますが、「さなぎ」の姿は土の中のため見ることはできません。毎年3月に放流する幼虫は、この装置の中で交尾したホタルが産んだ卵から飼育しています。多くの幼虫が生まれるようにと願っています。

満開 延命水の桜 4月14日



鳥川の水晶！？

「水晶でしょうか？」と水晶山トレッキングに行かれた方がホタル学校に石を持ってこられました。キラキラ光っています(中央部)。鳥川の魅力は「ゲンジボタル」をはじめ「名水百選」「幻の米」「水晶山」など、「水」にご縁がありますね。鳥川の自然を大切にしたいものです。



石の大きさ
高さ 13cm 幅 8cm